

テレビから、日本にもっと選択肢を！

人生 100 年時代を豊かに暮らす選択肢を提案する取り組み

「ACTIVE CHOICE PROJECT」スタート

2024 年、日本は 50 歳以上の国民の人口が 5 割以上になり

2025 年、約 3 人に 1 人が 65 歳以上、約 5 人に 1 人が 75 歳以上になる※

そのような超高齢化社会の中で、年を重ねるごとに「できることが減る」のではなく

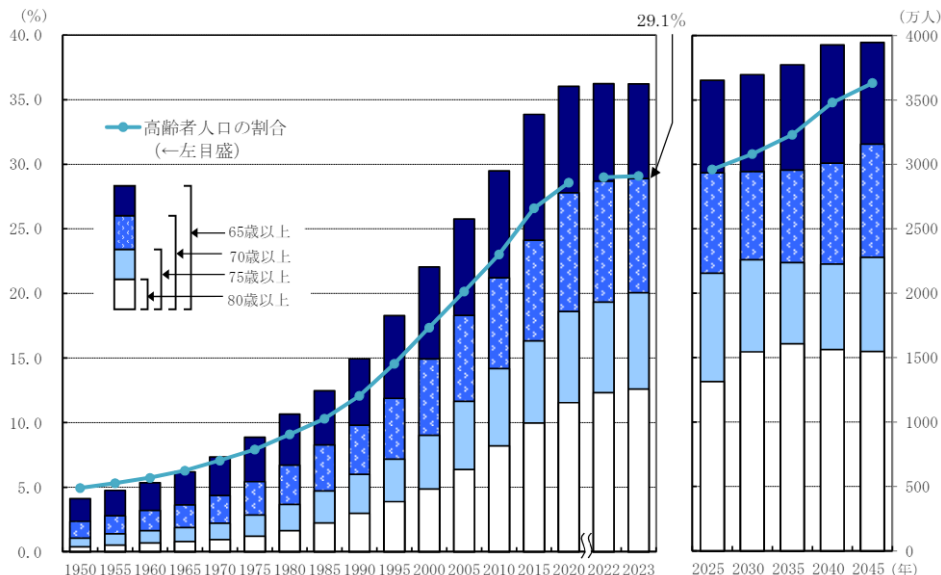
「人生を豊かに過ごすための選択肢が広がっていく」

そんな社会を目指すプロジェクトを、テレビ朝日は開始します。

2024 年 4月14日（日）より、株式会社テレビ朝日（代表取締役会長：早河洋、以下テレビ朝日）は、超少子高齢化社会の日本における様々な社会課題を解決するため、視聴者に人生を豊かに楽しくする為の多くの選択肢を提案し、ウェルビーイングを目指す「ACTIVE CHOICE PROJECT」をスタートします。

多才な人たちや同じような理念をお持ちの様々な企業と連携させて頂きながら、テレビ番組はもちろん、デジタルプラットフォームでの動画コンテンツやコミュニティの展開、イベントの実施や商品サービス開発など、様々な情報・体験を発信することで、視聴者の皆様のこれからの人生に役立つ新たな選択肢をご提案していく予定です。

※高齢者人口及び割合の推移（1950 年～2045 年）



1950年～2020年は「国勢調査」、2022年及び2023年は「人口推計」、2025年以降は「日本の将来推計人口（令和5年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計（国立社会保険・人口問題研究所）から作成
注1）2022年及び2023年は9月1日現在、その他の年は10月1日現在
注2）国勢調査による人口及び割合は、2015年までは年齢不詳を含んだ結果、2020年は不詳補完結果
注3）1970年までは沖縄県を含まない。

参照元：総務省「統計からみた我が国の高齢者」（令和5年9月17日）から引用

1. ACTIVE CHOICE PROJECT 立ち上げの背景・目的

「人生 100 年時代」と言われてもう何年も経ちます。その間医療が進歩し健康寿命は延伸しましたが、本当の意味でのウェルビーイングは実現していないと考えています。

例えば、定年退職したあとの人生、多くの人は不安を抱いているのではないのでしょうか。「打ち込むことが見つからない」、「新たなチャレンジをしようにも、雇用機会に恵まれない」これまで仕事や子育てに忙しい日々を過ごして、気が付いたら周りの友達もずいぶん減って「孤独や孤立による不安に苛まれる」、あるいは、コロナ禍によって外出機会が少なくなってしまう、「筋力や心身の活力が低下してしまった」――

超少子高齢化大国となった・日本は、こうした社会課題に真摯に向き合う必要があるのではないか。その課題に対してテレビ局として何ができるのだろうか。テレビ朝日は人生 100 年時代を心の底から楽しむためのサービスを提供することで、視聴者の皆様一人一人の人生がより豊かになっていくきっかけ作りのお手伝いをしていきたい、と考えました。

2. ACTIVE CHOICE PROJECT のサービスコンセプト



3. ACTIVE CHOICE PROJECT の具体的展開

50 代以上のアクティブシニアの方々に向けて、人生 100 年時代の後半戦を豊かに楽しく生きるための「マイチョイス」を提案する番組、『日曜マイチョイス』を今春よりレギュラー化します。

MCに阿川佐和子、進行に飯尾和樹（ずん）を迎え、アクティブシニアが熱中している

趣味に芸能人が挑戦したり、芸能人自らが熱狂するアクティブな活動を「マイチョイス」として紹介していきます。この番組をきっかけに「自分のマイチョイス（趣味・マイブーム）」を見つけ、始めるその一歩を後押しする、日本の元気なシニア層の豊かな人生を応援する番組です。

『日曜マイチョイス』

2024年4月14日（日）スタート

毎週日曜 夕方4時30分～5時25分

※一部地域で放送時間が異なります

また、今年の夏を目途に今後ウェブ上での動画展開やコミュニティの提供も行っていく方針です。

4. テレビ朝日 代表取締役会長 早河洋 コメント

テレビ朝日は49歳以下の視聴者も50歳以上の視聴者も共に大事にする、ターゲットのハイブリッド戦略を展開してきました。この戦略では、番組対応もさることながら、シニア層を重視するアドバイザーと連携し、高齢化社会を前向きに捉えたうえで、シニア層の生活を豊かにする選択肢を、テレビ機能やデジタルプラットフォーム、リアルイベントを使って増やしていくことを目的とします。

新しいビジネスモデルとして、エンターテインメントサービスを提供していくこの計画を『アクティブ チョイス プロジェクト』と命名、この度本格スタートを切り、視聴者やアドバイザーの皆様のソリューションとして取り組んでまいります。